

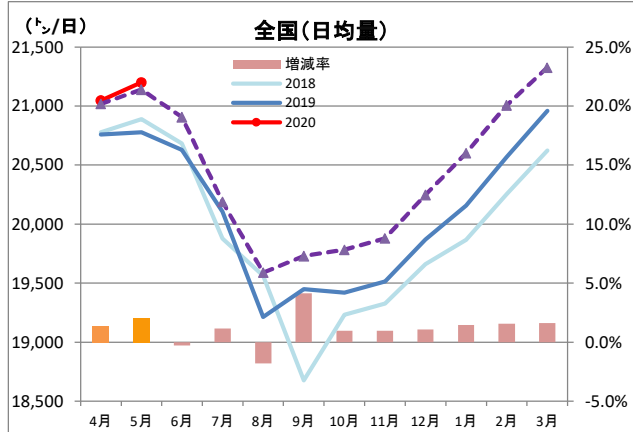
Jミルクが2020年5月27日に公表した「需給見通し(※2020年3月迄実績)」の予測値とその後の実績をグラフ化しています。毎月25日の「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も随時、配信していきます。発行:一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《需給はひっ迫基調で推移～学乳の再開や夏休みの短縮等の生乳需給への影響について～》

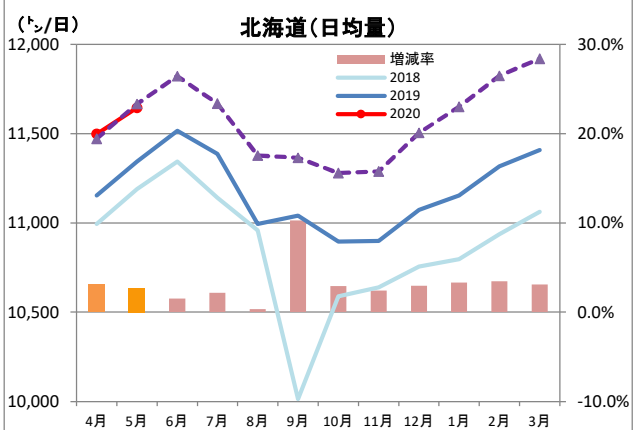
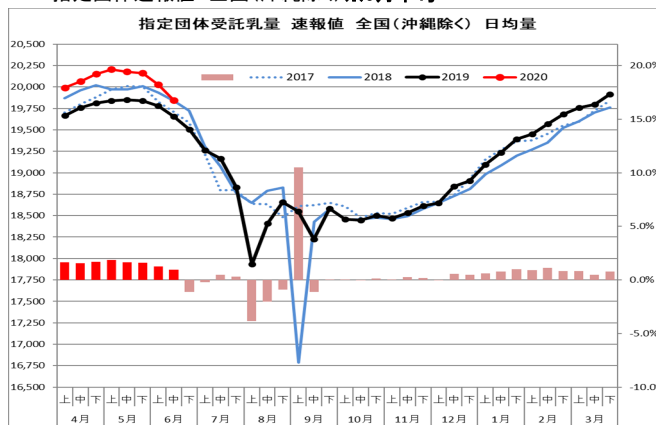
- ・5月の需給実績については、以下に示す通り、新型コロナ感染拡大による学乳停止や外出自粛等の影響を受け、4月に続き飲用等向の処理が大幅減となった一方で、乳製品向の処理量が大幅に増加し、脱脂粉乳・バター在庫がさらに積み上がる状況となった。なお、脱脂粉乳については、85千トンを超える非常に高い在庫水準となっているが、国によって需要のある分野で活用する取り組みが行われており、今後在庫から20千トン程度が削減される見通しにある。
- ・牛乳の家庭内消費については、関係者による消費拡大の取組みもあり、5月については高い伸び率となった。なお、直近(6/22週)については、学校給食の再開等もあり、前週(6/15週)より伸び率は縮小しているものの、引き続き前年を上回って推移している。
- ・今後は、今夏が猛暑となる可能性も示唆される中で、需給がひっ迫基調で推移し、場合によってはひっ迫の度合いがより強まる可能性もあることから、生産現場では生乳生産を極力落とさないよう暑熱対策等の取り組みが重要になるとともに、牛乳等の市場混乱がないよう、引き続き業界で一致協力した対応が必要になると考えられる。

【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

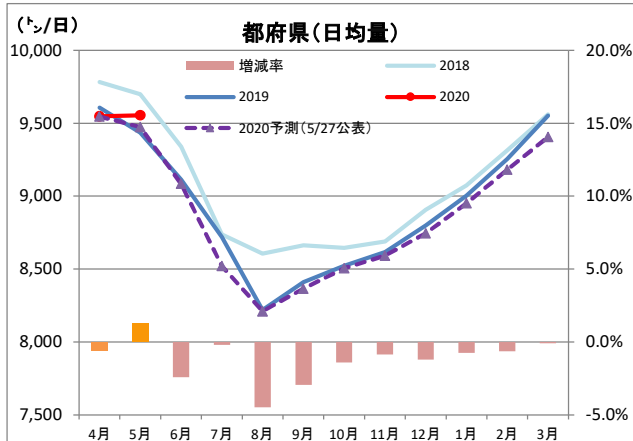
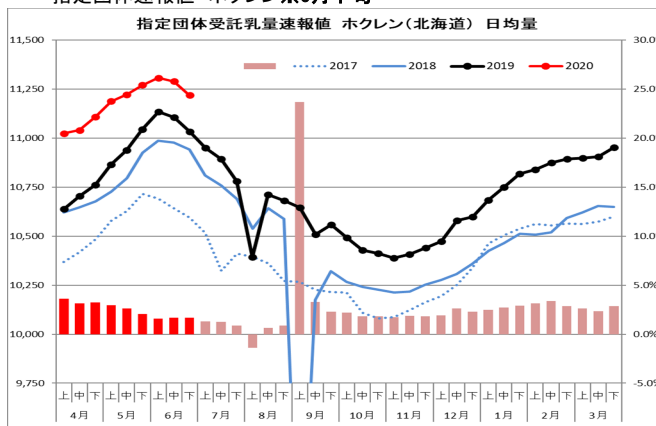
- (1) 5月の生乳生産量は、全国657千トン(前年同月比102.0%)、北海道361千トン(同102.7%)、都府県296千トン(同101.3%)。
- (2) 全国では、Jミルク予測値(655千トン)を若干上回って推移している。
- (3) 北海道は、予測値(362千トン)と同程度で推移している。
- (4) 都府県は、予測値(294千トン)からやや上振れしており、好調に推移している。
- (5) 直近の指定団体速報値によると、全国が同101.0%(6月中旬)、北海道が同101.7%(6月下旬)、都府県(沖縄除く)が同100.0%(6月中旬)。



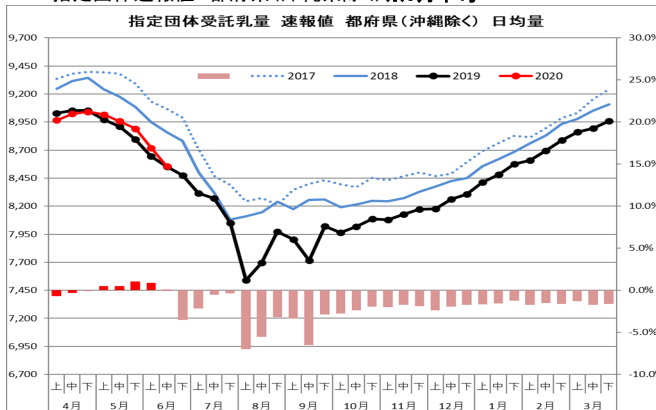
指定団体速報値 全国(沖縄除く)※6月中旬



指定団体速報値 ホクレン※6月下旬



指定団体速報値 都府県(沖縄除く)※6月中旬



【牛乳等生産量】※増減率は、日均量で算出。

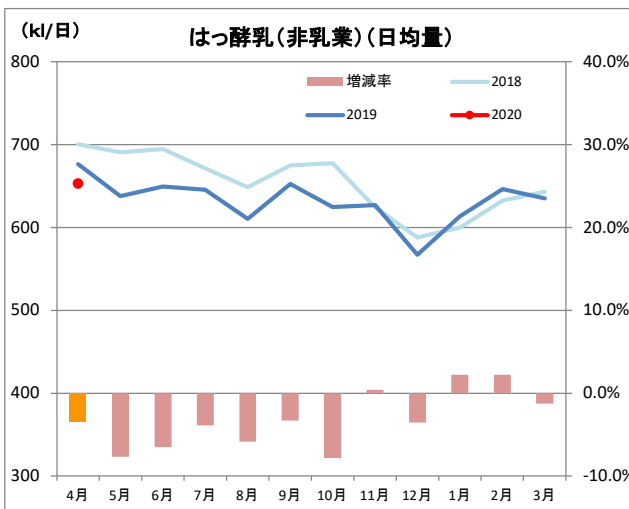
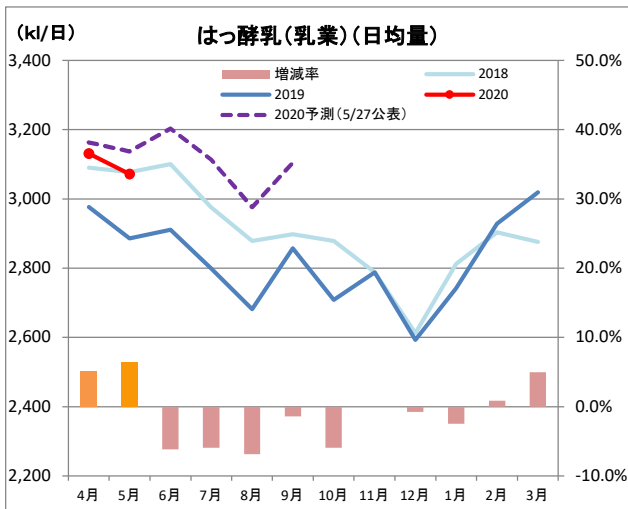
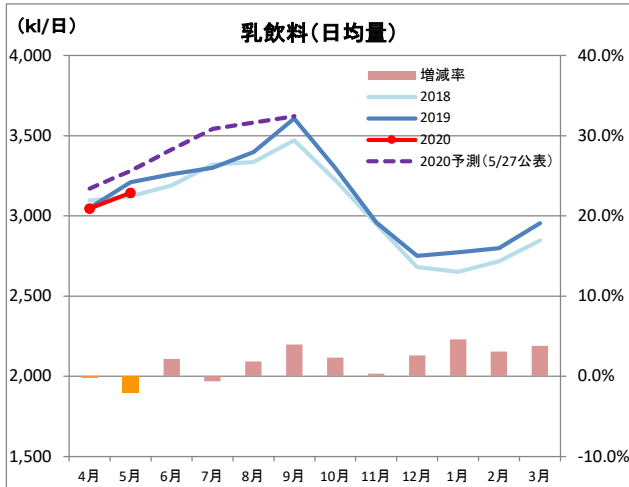
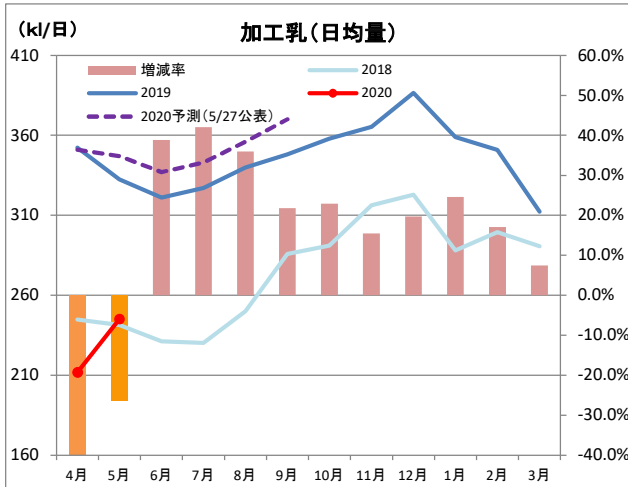
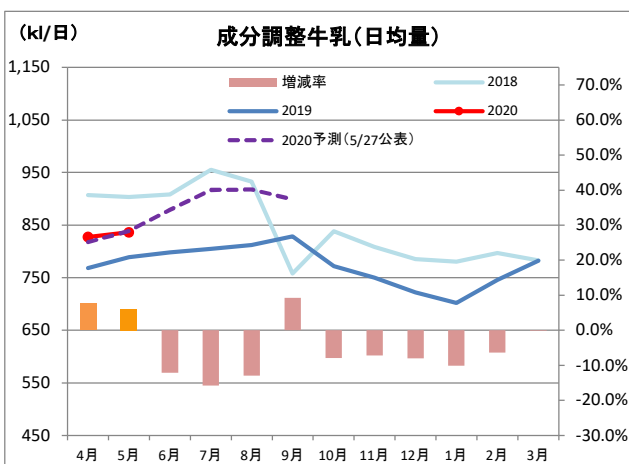
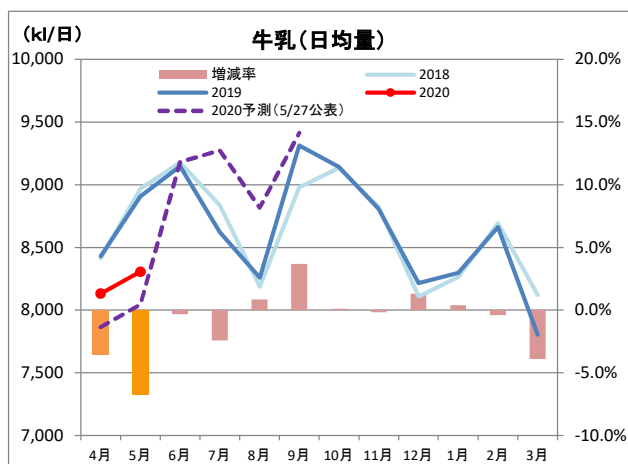
(1)5月の牛乳等生産量は、牛乳258千kl(前年同月比93.3%)、成分調整牛乳26千kl(同106.0%)、加工乳7.6千kl(同73.7%)、乳飲料97千kl(同97.9%)となり、牛乳類で388千kl(同94.7%)で推移している。

なお、予測値との比較では、牛乳(予測値:249kl)は上振れしているが、加工乳(予測値:11千kl)については、大きく下振れしている。

(2)「牛乳」のうち、「業務用以外」は、巣ごもり需要から同109.1%と前年を大きく上回っているが、「業務用」は同64.0%、「学乳」は、臨時休校の影響によって17.8%と前年を大きく下回っている。

(3)はっ酵乳(乳業)は95千kl(同106.4%)と引き続き前年を上回っているものの、非乳業実績(4月)については同96.6%と3ヶ月ぶりに前年割れとなった。なお、はっ酵乳(乳業)は、予測値(97kl)より若干下振れして推移している。

※はっ酵乳(非乳業)資料:(一社)食品需給研究センター「食品製造業の生産動向」



【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)5月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比119.1%、成分調整牛乳:同109.4%、加工乳:同102.7%、乳飲料:同111.3%。

・牛乳類では同116.6%と前年を大きく上回っている。

・販売単価は、牛乳:190.3円、成分調整牛乳:174.8円、加工乳:181.3円、乳飲料:150.8円。

(3)直近(本年4月~)の動向(表②参照)

・直近(6/22週)の販売個数は、牛乳:前年同期比105.5%、成分調整牛乳:同98.0%、加工乳:同94.2%、乳飲料:同102.2%。

・牛乳類では同105.5%と前年を上回って推移している。

・販売単価は、牛乳:190.3円、成分調整牛乳:175.5円、加工乳:181.2円、乳飲料:150.8円。

・各品目とも前週(6/15週)をやや下回って推移している。

※出典 (株)インテージSRI週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

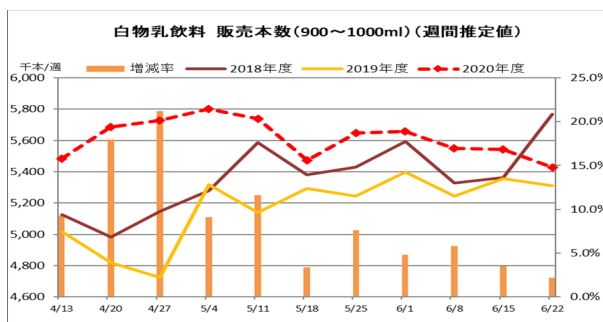
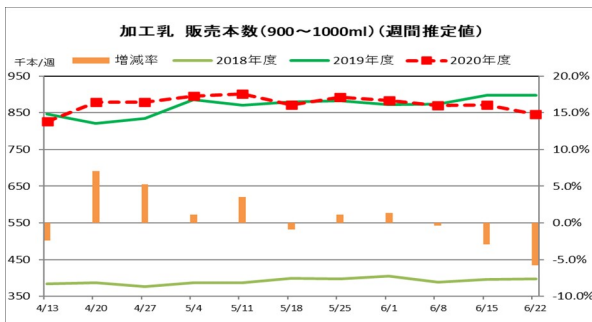
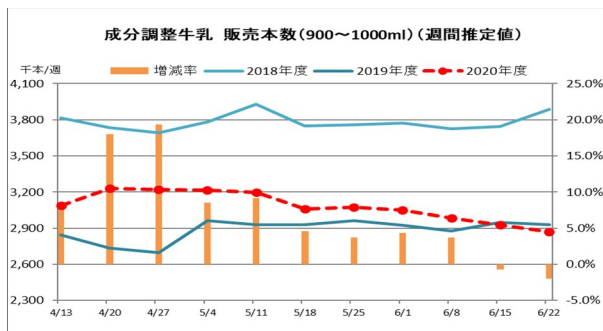
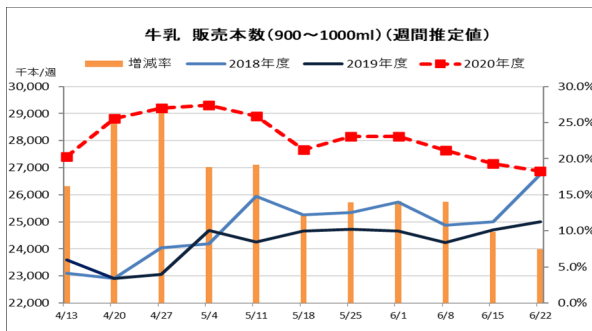
【表① 牛乳類の月別販売動向】

品目	区分	2019/6-	2019/7-	2019/8-	2019/9-	2019/10-	2019/11-	2019/12-	2020/1-	2020/2-	2020/3-	2020/4-	2020/5-
トータル	販売個数	146,089	150,712	157,017	153,596	148,298	134,058	136,831	130,706	130,783	148,892	157,820	170,377
	販売個数前年比	96.8	91.6	96.8	100.1	100.8	99.7	99.1	100.8	106.9	107.9	117.0	116.6
	販売単価	182.1	182.5	183.2	182.6	182.4	181.8	182.0	181.8	181.5	182.0	182.7	182.9
牛乳	販売個数	106,658	109,892	115,243	111,701	108,225	97,871	101,065	96,416	96,544	110,562	117,643	127,232
	販売個数前年比	97.8	92.4	98.0	100.5	102.6	100.2	100.0	101.4	107.7	109.1	119.2	119.1
	販売単価	189.8	190.3	190.9	190.5	190.2	189.7	189.4	189.4	189.1	189.3	189.9	190.3
成分調整牛乳	販売個数	12,615	13,213	13,581	13,640	12,364	11,490	11,514	11,016	11,040	12,526	13,231	13,978
	販売個数前年比	78.1	74.8	78.2	105.5	80.7	82.0	80.7	82.5	87.6	87.5	109.4	109.4
	販売単価	173.1	173.5	173.9	173.5	173.8	172.9	173.0	172.9	172.6	173.5	173.7	174.8
加工乳	販売個数	3,805	3,959	3,942	3,972	3,871	3,321	3,286	3,103	3,064	3,449	3,579	3,933
	販売個数前年比	180.3	173.9	178.2	160.1	178.1	180.9	179.3	178.0	188.6	189.0	108.3	102.7
	販売単価	186.2	186.6	188.2	184.7	183.3	182.6	183.5	182.7	182.1	182.9	184.3	181.3
乳飲料	販売個数	23,011	23,648	24,251	24,283	23,838	21,376	20,966	20,172	20,135	22,356	23,367	25,233
	販売個数前年比	98.0	92.2	96.7	90.2	89.0	102.4	100.8	103.7	109.5	108.8	112.5	111.3
	販売単価	150.7	150.6	151.1	151.0	151.4	150.3	150.5	149.9	150.0	150.4	150.9	150.8

【表② 牛乳類の販売動向(直近の動向)】

品目	区分	4.6-	4.13-	4.20-	4.27-	5.4-	5.11-	5.18-	5.25-	6.1-	6.8-	6.15-	6.22-
トータル	販売個数	35,917	36,813	38,603	39,030	39,227	38,725	37,077	37,772	37,746	37,042	36,490	36,017
	販売個数前年比	114.4	114.0	123.4	124.6	115.9	116.7	109.8	111.7	111.5	111.5	107.6	105.5
	販売単価	182.5	182.7	183.0	183.3	183.1	182.9	182.9	182.8	182.7	183.0	182.9	183.0
牛乳	販売個数	26,729	27,412	28,809	29,199	29,316	28,892	27,672	28,160	28,152	27,640	27,146	26,877
	販売個数前年比	116.5	116.2	125.8	126.6	118.8	119.2	112.2	113.9	114.1	114.0	109.9	107.5
	販売単価	189.9	190.1	190.3	190.5	190.4	190.3	190.2	190.2	190.1	190.4	190.4	190.3
成分調整牛乳	販売個数	3,040	3,090	3,230	3,224	3,215	3,195	3,060	3,074	3,050	2,984	2,929	2,868
	販売個数前年比	108.8	108.6	118.0	119.5	108.6	109.1	104.5	103.7	104.3	103.7	99.3	98.0
	販売単価	173.5	173.4	174.1	175.0	175.1	174.6	174.9	174.9	174.8	175.0	175.2	175.5
加工乳	販売個数	834	827	879	879	895	901	871	892	884	870	872	846
	販売個数前年比	105.5	97.6	107.0	105.3	101.2	103.6	99.1	101.2	101.4	99.7	97.1	94.2
	販売単価	184.1	184.7	183.6	182.6	181.5	180.8	180.6	180.7	180.7	180.9	181.2	181.2
乳飲料	販売個数	5,313	5,485	5,686	5,728	5,801	5,737	5,474	5,646	5,659	5,549	5,543	5,426
	販売個数前年比	109.1	109.3	118.0	121.2	109.1	111.6	103.4	107.6	104.8	105.8	103.5	102.2
	販売単価	150.3	150.9	151.5	151.3	151.0	150.7	150.6	150.8	150.9	150.9	150.8	150.8

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)直近(本年4月～)の動向(表③参照)

直近(6/22週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90～250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70～130ml):同90%以上、大容量タイプ(350～500ml):同100%以上。

(2)ドリンクタイプ、個食タイプは前年を下回っているものの、大容量タイプについては引き続き前年を上回って推移している。

【表③ ヨーグルト類の販売動向】

品目	4.6-	4.13-	4.20-	4.27-	5.4-	5.11-	5.18-	5.25-	6.1-	6.8-	6.15-	6.22-
ドリンクタイプ	↑	↑	↑	↑	→	→	↓	↓	↓	↓	↓	↓
個食タイプ	↔	→	↔	↑	↓	→	↓	→	→	→	↓	↓
大容量タイプ	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↔	↑	↔	↔	↔	→

↓	:前年比90%未満	↔	:前年比105%以上110%未満
↓	:前年比90%以上100%	↑	:前年比110%以上120%未満
→	:前年比100%以上105%	↑	:前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

《参考情報》

JミルクHPに下記情報をアップしております。

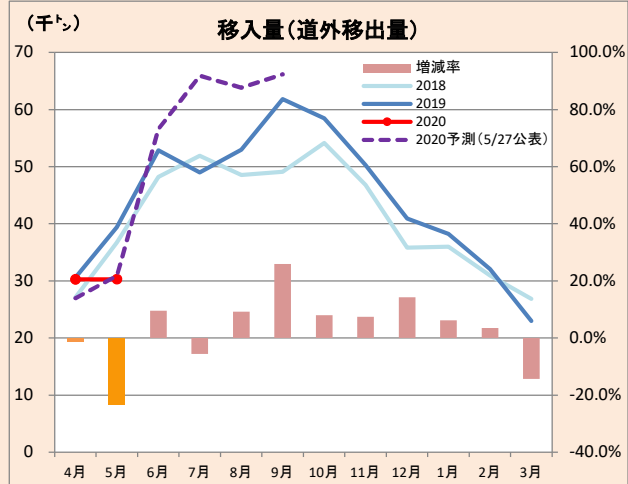
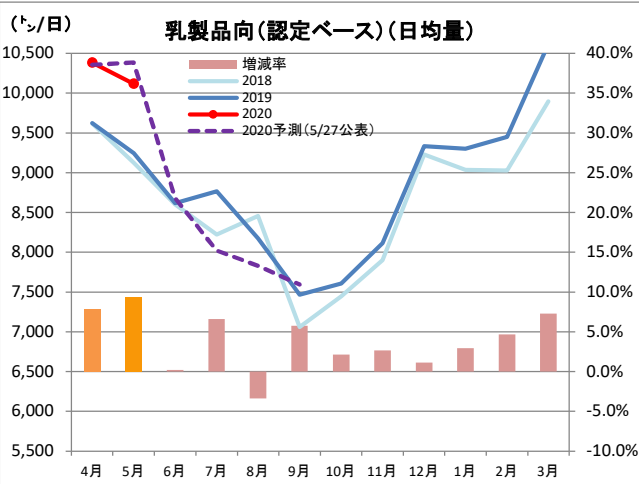
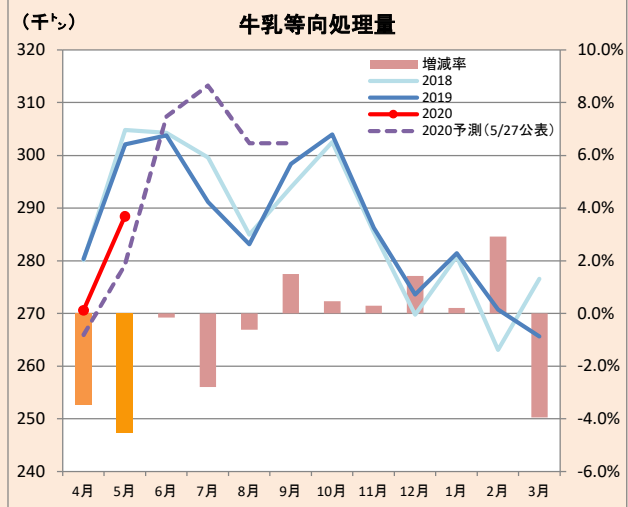
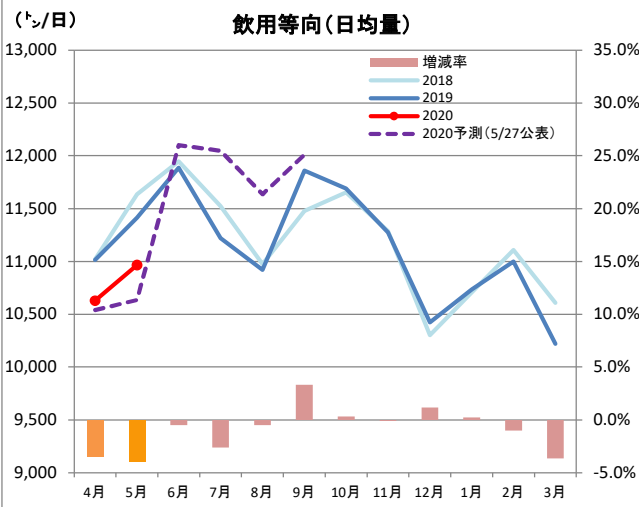
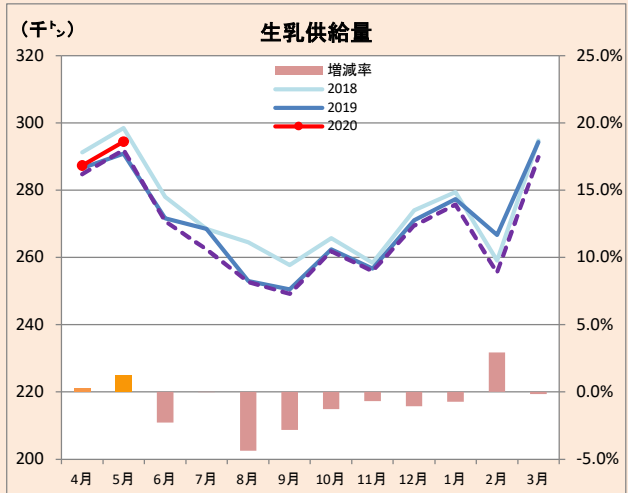
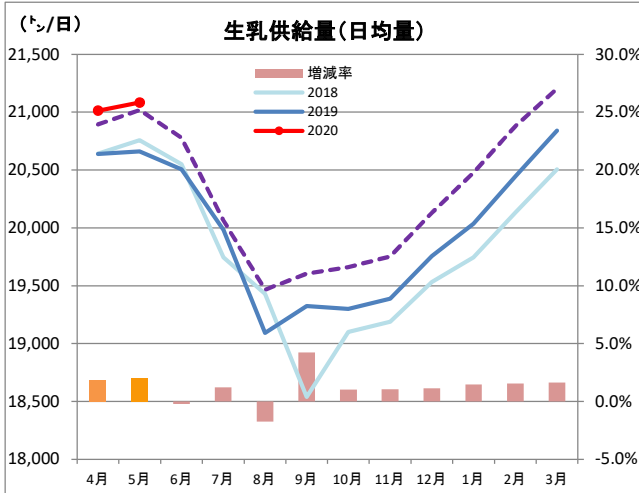
- ・健康な免疫系をサポートする牛乳・製品の役割
<https://www.j-milk.jp/report/international/h4ogb400000042tg.html>
- ・国際Dairyレポート2020年夏号
<https://www.j-milk.jp/report/international/h4ogb400000044n9.html>
- ・酪農開発の貧困削減に対する影響力 FAO・GDP・IFCN報告書(仮訳)
<https://www.j-milk.jp/report/international/h4ogb400000044b3.html>
- ・気候変動と世界の乳牛セクター 将来の低炭素社会における酪農乳業セクターの役割 FAO・GDP報告書(仮訳)
<https://www.j-milk.jp/report/international/h4ogb400000044hj.html>
- ・世界の飢餓撲滅に対する酪農乳業の影響力 FAO・GDP・IFCN報告書(仮訳)
<https://www.j-milk.jp/report/international/h4ogb400000044k6.html>

【用途別処理量】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)5月の生乳供給量は654千トン(前年同月比102.0%)、飲用等向340千トン(同96.1%)、乳製品向(認定ベース)314千トン(同109.4%)。
 (2)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:652千トン)は若干上振れしている。また、飲用等向(予測値:330千トン)が上振れしたことから、乳製品向(予測値:322千トン)が下振れで推移している。
 (3)北海道の生産は好調であり、都府県についても前年を上回っており、今後も生乳供給量は前年を超えて推移することが予測される。

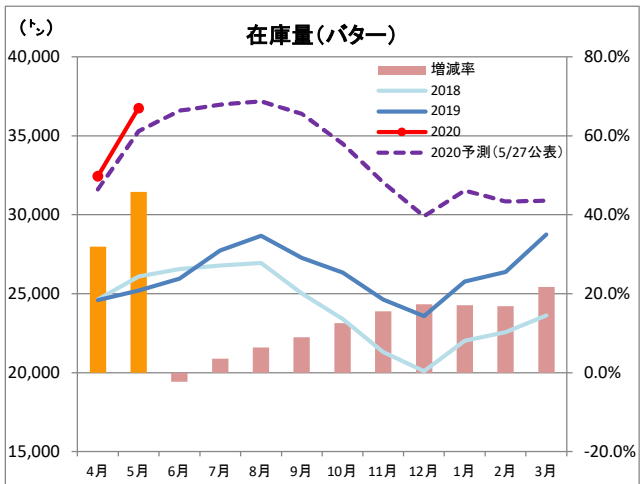
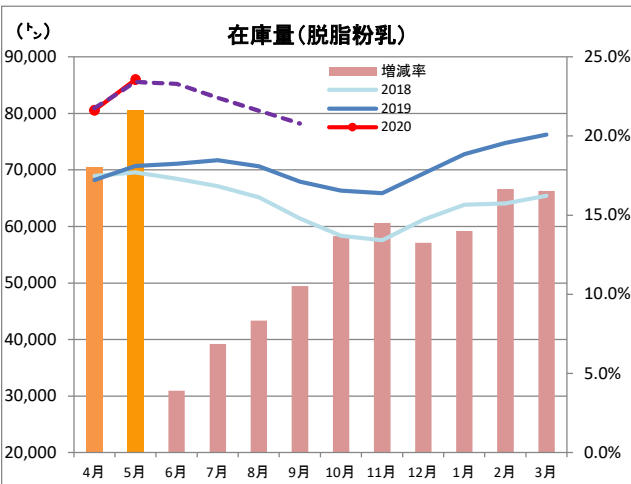
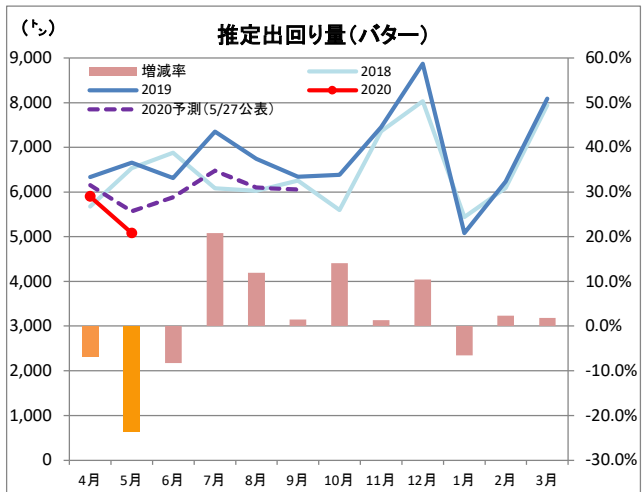
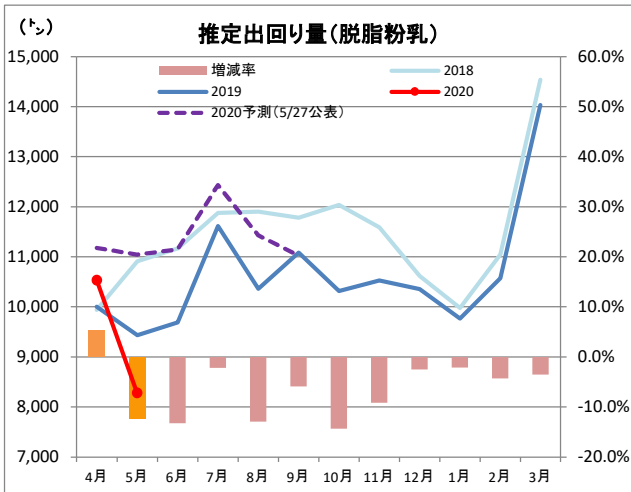
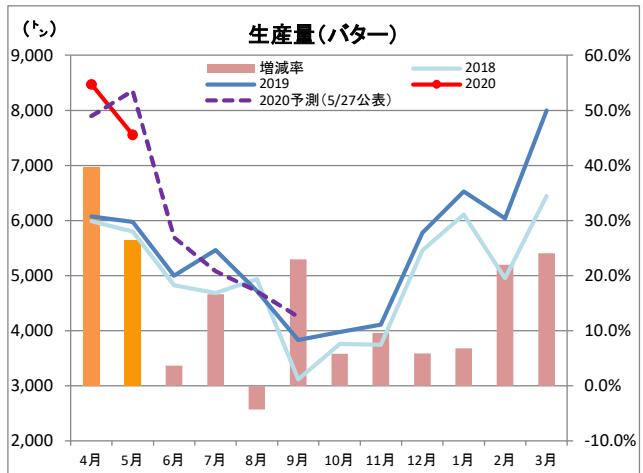
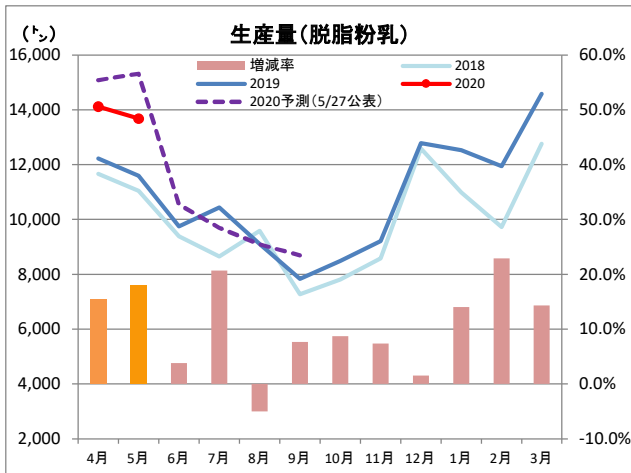
【都府県の生乳需給】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)5月の生乳供給量294千トン(前年同月比101.3%)、牛乳等向288千トン(同95.5%)、北海道からの移入量については、30千トン(同76.8%)。
 (2)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:292千トン)、牛乳等向(予測値:279千トン)は上振れで推移しているものの、北海道からの移入量(予測値:31千トン)は同程度で推移している。



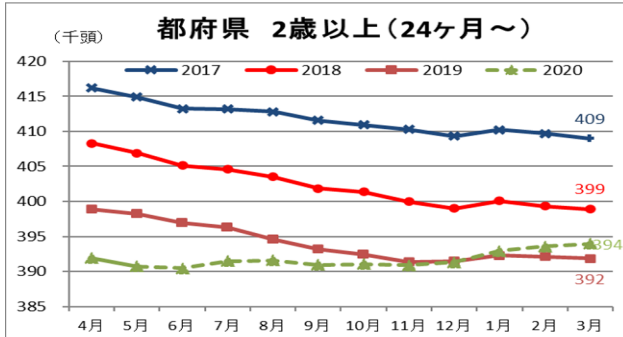
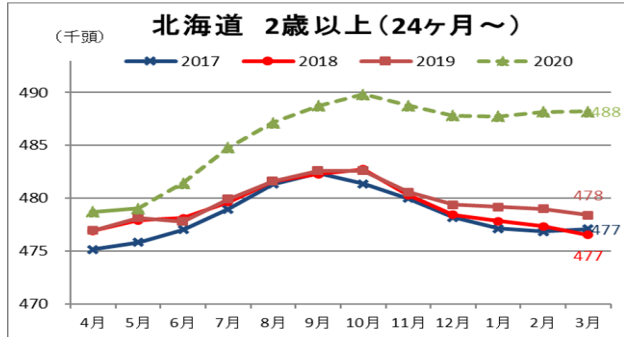
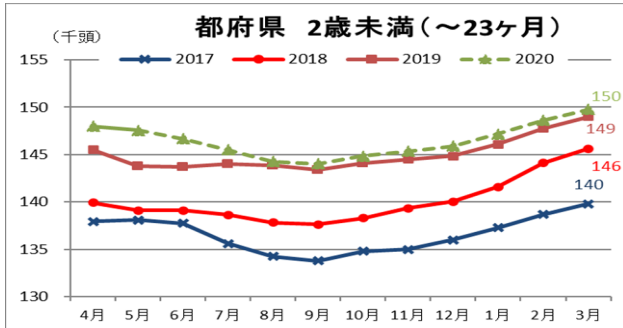
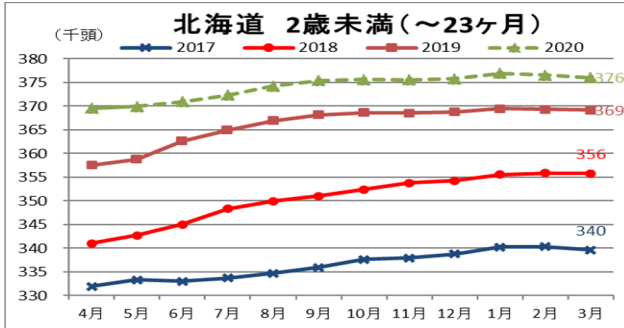
【脱脂粉乳・バターの需給】 ※増減率は、日均量で算出。

- (1) 脱脂粉乳は、5月の生産量は13.7千トン(前年同月比118.0%)、推定出回り量は8.3千トン(同87.8%)、その結果、在庫量は86.0千トン(同121.6%)。推定出回り量(≒需要量)は大幅に減少した。
 なお、予測値との比較では、生産量(予測値:15.3千トン)、推定出回り量(予測値:11.0千トン)は下振れし、在庫量(予測値:85.6千トン)はやや上振れしている。
- (2) バターは、4月の生産量は7.6千トン(同126.5%)、推定出回り量は5.1千トン(同76.3%)、その結果、在庫量は36.7千トン(同145.8%)。推定出回り量(≒需要量)は大幅に減少した。
 なお、予測値との比較では、生産量(予測値:8.4千トン)、推定出回り量(予測値:5.6千トン)は下振れし、在庫量(予測値:35.3千トン)は上振れしている。



【乳雌頭数動向】

(1)2歳未満頭数については、北海道・都府県ともに前年を上回って推移する見通し。
 (2)2歳以上頭数については、北海道は5月は前年と同程度となったものの、その後は前年を上回って推移する見通し。
 都府県は徐々に前年に近い頭数となり、12月以降に前年を上回る見通し。
 ※2020年5月以前は家畜改良センター速報値。2020年6月以降についてはJミルク予測値。



【家畜販売価格動向】

(1)5月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は750千円(前年同期比93.1%)、育成牛価格は455千円(同96.2%)、和牛素牛(去勢)価格は671千円(79.6%)、F1素牛(去勢)価格は427千円(同81.3%)、F1初生(雄)価格は207千円(63.5%)。
 (2)上場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同95.3%、育成牛:同89.5%。また、和牛素牛(去勢):同107.9と前年を上回ったが、F1初生(雄):同95.0%、F1素牛(去勢):同99.9%と前年を若干下回った。
 ※ホクレン家畜市場集計表 速報値(<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)

